

談 想

中 北 支 の 旅 の 記

— 都 計 技 術 者 へ の お み や げ —

正 會 員 近 藤 謙 三 郎*

六月の末から七月へかけての支那の旅は暑いぞと豫て聞かされてゐましたが本當に暑かつたです。余りの暑さに来る夜も次の夜も次の夜も寝つかれぬ程でした。夏の日永を體力の及ぶ限り馳け廻りますし夜は夜で體腹の御馳走です。今の世は何處に行つても顔知り許りですから御馳走の連続です。有難いことですが身體は疲れます。疲れ果てゝ寢についたかと思ふと余りの暑に眼を覺ます。身體中熱まつたいのに腹と胸とは冷くなつてゐます之が一番いけない。翌日の下痢は請け合ひです咳さへ催します。ですから私は寢巻の懷にシャツやズボン下を詰め込みそれから夜具を丸めて兩手と兩足で抱いて寢ました、之は中々良い方法です。御腹も胸もいためませんしそれに姑娘の代りにもなります。やつて御覽なさい。

擴充の築港 白河の下流、海河の泥流を避けて河口の横に新規の築港をやるのです。差し向きの目標は年取扱量〇〇〇萬屯、就中石炭の積出しが急務の由、導流堤兼用の防波堤、波際と埋立、岸壁、石炭棧橋等が主なる工事です。規模も雄大ですし北支新港建設事務所の猛馬力でピンチも素破らしくあがつてゐます。愉快です。併し臨港工場地帯や後方市街建設はどうするのせう。保健慰樂の施設は誰がやるのせう。これ等は建設事務所のあづかりら知ぬ事の様です。附近一帯は鹽田地帯です、干からびた泥土の表面に曹達が激しい陽光を照り返してゐます、耐え難い暑さです、微風さへ無く鹽田の風車は動かうともしませんでした。あのまゝでは樹木も育ち兼ねます、港だけ出来上つても地獄です。

三井では海河内港に相當規模のドックと棧橋とを獨力で建設中です。工場専用ではありません。一般物資の積卸用です。時局下公共施設にのみ俟ち難きを痛感したか

らでせう。意氣壯なるものがあります。

天津の街 人口 160 萬北京に匹敵する大都市です。と廣大な後方池電への聯絡運河と鐵道とを持つてゐるが強味です。そして外國租界があるのが特異性です。河港は天津を以て終端とします。此の附近では水深 4.5 米、幅員は約 120 米位で、兩岸には荷揚場、倉庫びつしりです。約 2,500 屯迄の船が入りますが、狭いでも使へば使へるものと思ひます。從來の年荷捌下流を含めて約 400 萬屯です。

港の事は其の程度にしてこゝでは主に外國租界の、を書きませう。元來租界は日、英、獨、伊、露と數りましたが獨、露の分は今ほ解消して特別區となつてゐます。英、佛のものが最も立派です獨、露の分は立派の故でもありませんが云ふ可きものはありません。

英租界を通じて看取せられるのは彼等自身の生活くしようとする意欲の現れです。租界全體が堂々たる住宅街です。街路の施設も立派ですが就中住宅建築がです。住宅に比しては繁華街には特別の意匠は見受けられません。第二義的に考へられてゐるのでせうか。か豪然とかまへてゐるのに反し佛租界の方では繁華先づ目を引きます。繁華街と云つても淺草や吉野町異ひます、何處迄も快適と麗酒を失はない立派な商と社交街と享樂街です。ですから佛租界には各地區々が遊びに出かけます、こゝでは洋車の兄弟迄が榮に見えます、良いものは誰にでも良いものです。佛天性遊び楽しませる術を心得てゐると見えます、そ充分儲けるのでせう。

一と筋の商店街でも佛租界から一步日本租界に跨りますと火の消えたる感じ—いや文字通りネオンの

消えてなくなります。

英租界のエクステンションに素晴らしい競馬場とカンツリー・クラブの設備があります。英人はスポーツ好きで楽しむ方、佛人は楽しませる方です。日本人は楽しむのも楽しませるのも好かんと見えます。併し御料理屋は澤山有りますから飲むのと買ふのとは事かきません。

ドライヴ・ウエー 英租界を買けてカンツリー・クラブの方へドライヴ・ウエーが設けてあります。大したものではありませんが兩側は静かな住宅地帯でゆとりのある住居と緑です。道路の中央に芝生があつて車道を左右に狭けてあります。特に明瞭に意圖のうかゞはれるのは全路線に亘つて曲線を用ひて居ることです。直線路は言はゞ氣を付け！の姿勢です。自由がありません窮屈です。疲れます。ですから永く續けてはいけません。之はドライヴ・ウエーでは特にそうですが一般の道路や街路に於ても同じです。氣を付けなければなりません。

序でですが自動車の操作には緩やかな無理のない曲線路が一番です。Sカーブは自動車の得意です。假りに若しSカーブの反折點に直線を挿入したとしたら運轉は余り厄介になります。何故かならばハンドルは先づ右に切り曲線に乗り次に左に返して直線に出で暫く其のまゝのハンドルを保ち然る後に左に切り替えて次の曲に乗り之を右に切り戻してS字行を終るのでして四段の操作を必要とするのですが、中間の直線さへ無いならば三段の操作ですむ運です。同様の理由からして大きく右折れ曲線を設く可きところを假りに小刻みに右折れ曲線を二つに分けて其の中間に直線を挿入したら目もあてられぬこととなります。二段の操作ですむところが四段になつてしまふますから。大型角剪りの街角で直線の車道境界を入れた場合にデッド・スペースが出来るのも同じ理です。

之も序の話ですが道路設計の要諦は車を自然に導いてやることです此の點に於て特に申上げたいことがあります。それは登りの途の頂で起ることです。直線道路の登り頂附近では運轉者の眼から見て路面が水平のスカイラインとなつて現れます。その線から先は空より外は

何も見えません、その光が直線なのか折れて居るのか勾配が如何なのか皆目見當が付きません、非常に不安な氣持に襲はれます。運轉の心がまへに據り處がないからです。

ゴルフでブラインド・コースと云ふのがあります。見えないホールに向つてボールを打たねばなりません、ブラインドのうちでもスカイ・ラインより他に何も見えないコースが偶にあります。とても打ち辛いものです。

ですから登り頂前後の路線は出来る事なら直線避けて態と曲線を入れることです。そうすれば其處に何物か據り處が生れて來ます。例へば道路では切取土面が又街路では軒並が自然と行く手を暗示して呉れると云ふ風に。

普通プロフィールと平面圖とは別々の紙に描かれます。同じ紙に描かれてもスケールが異つたりしますから設計圖の上では稍々もすると見落しますから注意を要します。

建築美と街路計畫 都市美の要素の一は建築でせう。いや今日我等の都市計畫に残された最大の問題が建築かも知れません。日本のバラックや滿洲のマツチ箱住宅を見慣れた目から見て毛唐の建築は何と立派なことです。特に住宅に於てそうです。考へなければなりません。中でもアパートメントの研究改善は急務だとつくづく感じます。アパートメントの改善利用によつて我々の生活は必ず良くなるでせう。都市美も之によつて増進されませう。併し其れは主として建築技師と家主の努力に俟たねばならぬ事です。

私が此處で述べたいことは建築そのものよりも寧ろ建築を都市美に生かす爲めに必要な街路計畫上の問題です。

天津租界の街路は主要幹線でも直線距離一軒に達するものはないと思はれる程に折れ又は曲つてあります。天津に限らず上海の青島のもそうです。處が此の不規則から來る醜さと云ふものが殆んど感ぜられぬのみでなく反つて建築の美しさが跳動して見えるのです。

震災前の東京のそれとは同じ折れ曲りでも成果はまるで反對です。



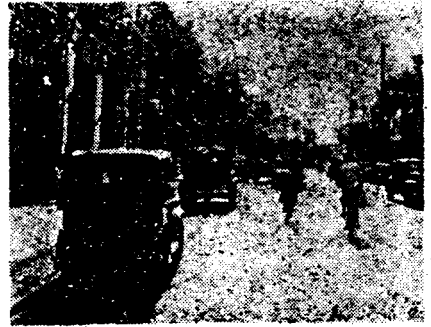
フランス公園ノ外周



見透シ線上ノ修景(折點)



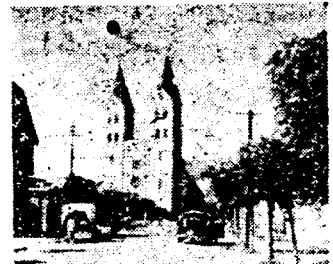
見透シ線上ノ修景(折點)



見透シ線上ノ修景(緩イ曲線)



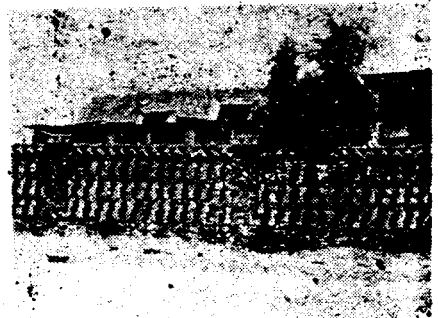
見透シ線上ノ修景(塔ト曲線)



青島丘上ノ尖塔



静ナ住宅地曲線路



庭を見せる垣根

天津田界の街路が當初から故意に曲げて計畫せられたと許りは考へられませんが彼等が折れ曲りを善用して都市美の増進の増進に注意を拂つてゐる事には間違ひないと思はれます。折れ曲りの美に對して反對直線の醜さを例にあげて言ふならば湯末の瀋洲市街とかそれから本所、深川邊りのあの單調な街路です。

以上の言葉だけでは私の考が理解し難いかも知れませんが更なる若干の圖解を試みませう。

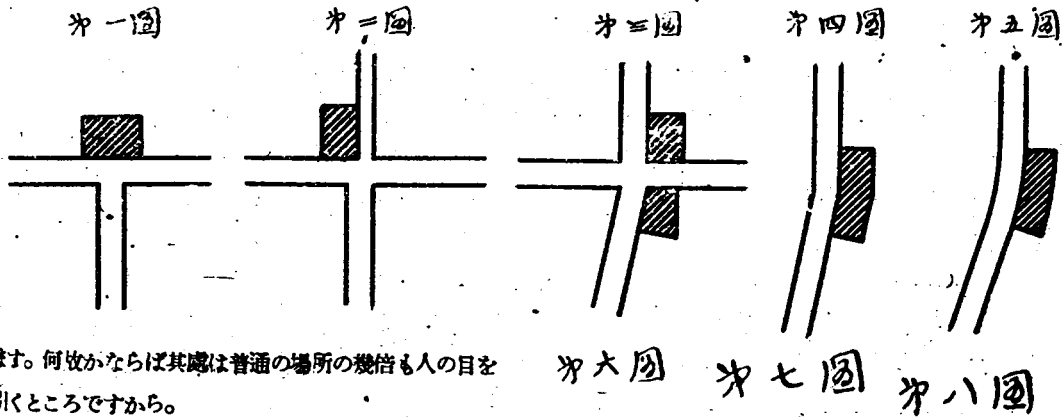
凡て街角はよい建築の敷地に當てねばならぬことは當然ですが第一圖から第五圖迄の迄の例に於てハツテで現した敷地の建築が一番物を言ふのです。此の部分に良い建築を配することによつて都市美はうんと引立ちます、反對に他の部分の建築が比較的が派でも此の部分の貧弱か或は醜惡なものでしたら其の街は見すばらしくなり

圖が二ヶ所に起つた丈けのものです。

ずば抜けて高い建築や塔は第七圖の様な場合でも街路美に至大の効果をもたらす。建築に限らず例へば山が街路の見透しに見えるならば素晴らしいことです。新京に其の例がありますが御氣づきですか。

北京西郊の新都市計畫では南北の最大幹線を萬壽山宮殿の見透しに設けてあります、すこぶる良いです。

街路でも道路でもですが直線の余りに長く續くところでは單調を破る爲めに例へば第八圖の様に中の島樹林を入れるのは用ゐてよい方法です。樹林とは限りません、美しい建築でも、芝生でも、唯一本の大樹でもよいです。北京西郊東西幹線には樹林のある廟を中島に取り入れました。新京の大同廣場や大連の大廣場はあれは主として交通上の見地から計畫せられたかも知れませんが、私は

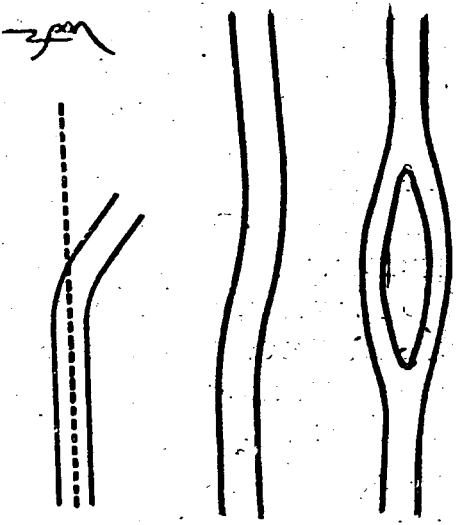


ます。何故かならば其處は普通の場所の幾倍も人の目を引くところですから。

第四圖の様な設計は成る可く避けて第五圖の様にし度いものです。

第五圖では見る人の前進につれて景色は靜かに展開致しますが第四圖ではそれがありません。曲線の半径は充分大きくなければ右の効果は現れません、さあ最少限街路幅の十倍でせうか。第四圖は又交通上の見地からしても成る可く避けねばなりません。第三圖の様な交叉點の場合に於ても幹線街路にはカーブを用ゐる度いものです。

第六圖の様な場合には建築面が各種各様の角度で以て同時に視野に入ります、之等の建築の様式や高さの如何によつては魔法の様な効果を現します、併し之を取てねらふのは邪道になるかも知れませんが、A、B兩點の距離が長過ぎては魔法の効果はありません、其れは單に第四



むしろ美観の見地から之を取り度いと思ひます。

之等を私に「見越し線上の修景」と名付け度いと思ひます。

支那都市の城門は見越し線上の修景技術の最高峰でせう。之を凌ぐものはありません。

建築高と壁面の規制 天津租界の美しさに街路見透線上の良い建築が大きな役割を演じてゐる事は上述の通りですが、其の他見透線外と雖も各建築の個性美が躍動してゐる事を見逃す譯に参りません。處がこゝに建築の高を切つて揃へ且つ壁面の位置を同一線上に規制してしまつたのでは建築の個性美は躍動する餘地はありません。私は東京にゐた時分に「壁面の凹凸は街路美を損ずるものに非ざる」意味を含めた論文を書いた事がありました。が今それを「壁面と高さの規制は都市美を損ずるものなり」と訂正し度いのであります。

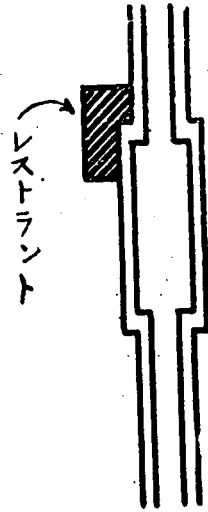
神戸でも香港(寫眞の知識で)も凡そ山の手街の風景は良いものですがそれは何故でせうか。山地の高低が自然道路に変化を與へ且つ建築の高を不平等にするからではないでせうか。安東山手の下級満人住宅地ですら繪になると畫家は申します。

滿洲國都呂計畫法の規定に「壁面の位置を指定し得る條文がある筈ですか、あれば同一壁面に規制する爲めの用意ではありません、公衆の利用多き建築を押し凹まして前面にゆとりを作り得る爲めの用意です、つまり壁面に凹凸を造るための用意です、間違へないで下さい。さもあれ私は獨逸式(?)の高さも壁面もきちんと整頓した堂々たるビルディング街を一概に排折せんとするものではありません、そう云ふ街路も偉麗であり美観があります。併しそれは氣を付け!の姿勢です、氣を付けの姿勢は長くつゞけてはいけません、むしろ休の姿勢の時間がより多く必要です。いやそれよりもプライベートが、街の變化が必要なのです。

と云ふ譯で私の希望からすれば建築主が欲張り根情をすて、建築の構造なり用途なりに應じて夫々適當に後退してたて、呉れたら一番良いのですが、實は何よりも算盤が先に立つ我等の建築主は餘り當てにならぬものとして、而も之を強行する法を圖解しませう、第九圖は佛

租界の一例ですが、斯く豫め街幅を廣めておくのです。

第九圖



此の手法は屢々用度いのです。交通上の見物すれば絶好の駐車場になります、駐車場の必要からぬ箇所では植樹帯なり生帯に餘分の用地を與へらよいでせう。又或る場合にはガソリンステーション、自動電話、共同便等のよき設置場所にもなませう。又流行の防空地下室も造り得ませう。之けでも街路の單調は破れます、そしてゆとりの氣が出て來ます、周囲の景

如何によつては建築美も跳り出て來ます。就中商店街如きには屢々用度い手法です。

街路樹と街角公園 天津租界の印象の一は街路樹、街路樹が概ね天然の樹形に育成せられてゐることで、生育も美事に歩道に覆ひかぶさつてゐます、之が建築の美しさを更にゆかしきものにして見せます。然に見度いものでもむき出しに過ぎては興をそぎます。滿洲での忠靈塔は概して餘りむき出しに過ぎると思はませんか。

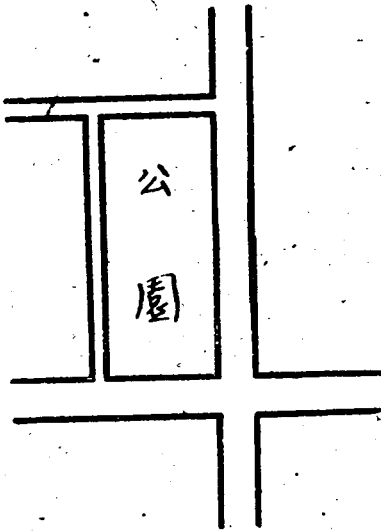
南京は中山陵の所見ですが山地を切つてドライブ、エーが造つてあります、その兩側にプラタナスの並木植へてあります、餘りにも几帳面に過ぎて環境に和しません、況や兩側の地山は在來の樹木で鬱蒼としてゐる來てはナンセンスに近いのです。日本や滿洲の街路に餘りに規制が過ぎませんでせうか。日本では二百十日風害に備えねばならず又電線防護の必要から來てもせうが誤つた規制の觀の影響はないのでせうか。私が山道路の設計者が日本からの留學歸りではなかつた祈ります。滿洲では二百十日は大した事はありません。又電線はこれにこそ規制を加へて街路樹の保護を講じらなませう。

街路に附帯せしめた小公園は哈爾濱等でも面白く見たのですがこゝでも同様のものが設けてあります。街路に著しく趣を添へますし又周囲の建築をも引き立つて見せます。



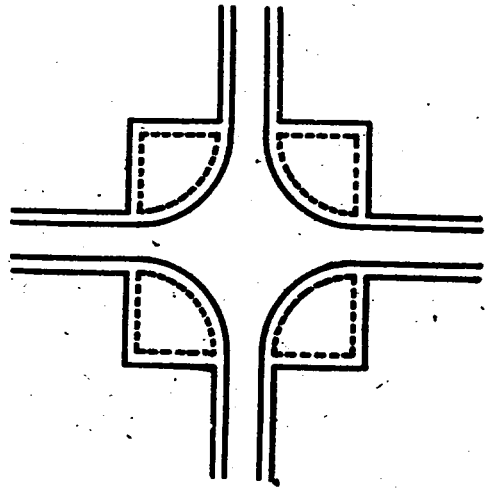
街角公園

第十圖

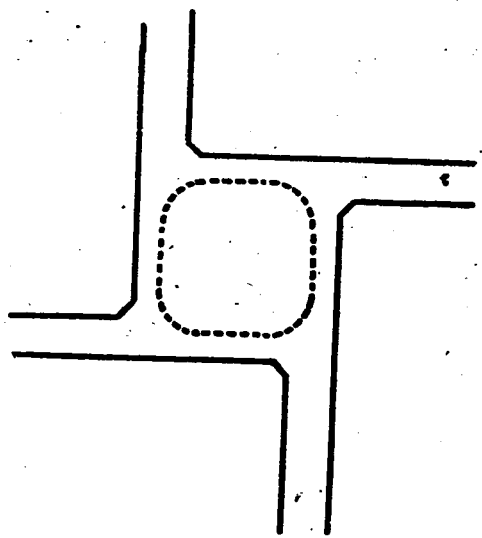


たり色々と變えた方がよいでせう、街に潤ひと特色を興へる事になりますから第十二圖は一見極端な例の様に見えるかも知れませんがどうせロータリーシステムにする以上は交通の見地からは同じです、用ゐてよい方法です。

第十一圖



第十二圖



街角を思ひ切つて剪り落して第十一圖の様にするのも面白いでせう土一升金一升の街角に芝を植えるのは勿體無等とケチな考を起してはなりません、之でこそ街は引き立ちますし又敷地利用價值から云つても大切な街角の開口を増加する事にもなります此の手法は商店街、住宅街、其の如何なる種類の街路にでも用ゐてよい方法だと思います。

廣場の形はスクエアでなくても圓にしたり隋圓にし

佛租界にフランス公園と云ふのがあります、新京の大同廣場や大連の大廣場と大同小異の構造ですが位置は用

途とが全く違ひます、即ち之は住居地帯（商業街路より程遠くはありません）に在つて施設は芝生と樹木と中央部の小亭です。私の見たのは暑い夜でしたが涼みの客がネムの木の花の下で大勢テーブルについてゐました。音楽はありませんでしたが清涼水のサーヴィス・ステーションが大變繁盛してゐました。ネムの木、ネムの木、昔品川のお臺場で初めて花を見てから腦裏を去らぬ木です。感傷的の木ですが私は好きです。滿洲では久しく見ませんが安東では育つでせう。

此の報告書では毛唐の建築を大分讚美致しました、良いところを成る可く早く取り入れて貰ひ度いからです。併し私は日本人の建築（建築技師の能力を云ふのではありません、むしろ建築に對する國民性を云ふのです。



ネムの花

に對して尠くも今後五十年が程は大なる期待をかけません。ケマツチ箱羅列の實情を見ては期待をかけ度くともかられません。果して然りとするならば美しい都市も亦期待し難いこととなるのです。が斯處に方法があるのです。樹木の活用がそれであり、それで半ばは救はれます、いや樹木に對する憧憬こそは原始時代からの本能によるものであつて建築に對するそれよりも餘程に根強いものがある筈です。樹木なら極めて安價に使圖出來ます。又國民性からしても元來毛唐に引けを取らうとは思ひません。よろしい樹木で行きませう。私が永々しく申し上げた見透線の上の修景も建築美に期待の出來ない場合には全部之を樹木に置き代へて見て下さい。

北京の街 北京の街は所謂支那式城壁街の代表であり、典型的な王城であり而も最もよく舊態の保存せられてゐるものであります。其の王城計畫の手法たるや簡單にして明瞭であり、已に皆さんも御承知の事であります。然るにです、然るに私は初めて北京を目で見て全く啞然と

してしまいました。簡單にして明瞭なる計畫の手法が最高の構想であり技巧の極致であることに気がつくからであります。四方を劃する城壁、城門配置の妙、中央に位する王宮と城廓との均り合ひ全市を包む樹海、海に聳ゆる宮殿、金色の甍、空の色！

停車場からの自動車の中で江守君は北京の支那人をインテリで上品だよと教へて呉れました、其の時私は何かなしに多く西洋人に接觸して來たからと感じました。それは誤りの様です。王城のバランス、美しさを日常の邊に感じて生活するだけで人間は上品になり、インテリになるに違ひません。特務機關の佐藤先輩は滿洲に居られる時分から俺の安住の地は北京だと云つてゐられたが、やうやく其の意味が了解出來ました。

一夜私は錦道會社の森さんの好意に甘へ北海に温訪し浮べて遊びました、北海と云ふのは王宮内の巨大な池です、美女を連れ山海の珍味を積んで涼をとるのです、よく豪遊でした、豪遊と云つても亂痴氣遊びではありません、其の昔の帝王の夢を見たからであります。其の昔の帝の如く遊んだからであります。夢のうちに私はひそかに北京王城の造り直しを考へて見たのですか無敵の之に勝る構想は得られません。

して見れば私には北京の都市計畫を批判する資格は無いようです。さればとて單なる事實ならば早や私の禿を愛しませんと云ふて之だけではお土産にもなりませんから強ひて若干の感想を附け足しませう。

市民祭廣場 北京は帝王の府で宮殿と廟堂とが總ての中心です。都はこれによつて出來てゐます。今は世が違ひます、如何に北京にほれて見てものまねは出來兼ねまい首都ならぬ一般都市では殊にそのです。併し一般都市としても中心施設として何物かと欲しくはないでせうか。都市構築の上からもそうですが、市民組織—市民生活の運用から云つてもそうではありますまいか。然らばそれは何でせうか、私は先づ市民集會場だと申し度いのであります、そして其の主要施設は公會堂と野天廣場です、野天廣場は都市入口の五分の一か少くも十分の一を收斂し而も全集會者の視線を唯一點に凝集し得る事が必要です。それが爲めには司會席の前にはサンク・ガーデン式に

外用は緩い傾斜のスタンド式になりませう。公會堂は野天養場の更に五分の一又は十分の一の收容能力で我慢しませう。

斯く云ふものゝ私自身何だか思想の落ち付かぬ點を感じます、それは只の集會場でよいかどうかであります、集會でも烏合の衆では困りますから何かに附随せしめ度い氣持ですが、それは市公署でも物足りません、協和會でも喰ひたりません、忠靈塔でもない様です、建國神廟も許されてゐない様ですが、その邊の行き方について中央からより明瞭な指導が頂けないものでせうか、頂けても今日の間にはあひませんから、かまはずと市民祭廣場と致しておきませう、そうすればあらゆる式典にも、よい音楽の演奏にも體操場にでも何にでも使へそうですから、

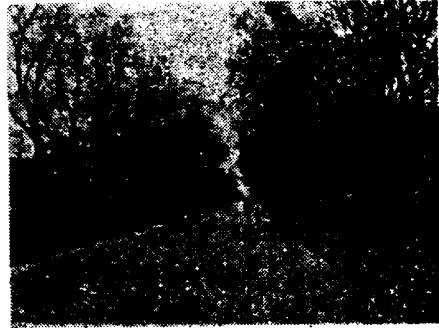
北京の樹木 天津の街で街路樹のことには已に若干觸れておきましたか北京の樹木に比しては全く話になりません。北京は樹の海です王宮と其附屬施設の敷地は云はずもがな、街路にも市民の宅地にも實に豊富な樹木です北京は樹海です、斯うなると内地の街路樹の規制論などむしろおかしくなります。規制も糞もありません樹の海ですから就中宮苑、廟等に於ける古大木のよさです、柏など幾百年の生命を保つたのでせうか二た抱え三抱えのものはざらです、我等もドラ、アカシヤで緑化の促進を計る一方二百年後の子孫の爲めによき樹木を今のうちから仕立てゝおく事を忘れてはなりません。



北京の街路樹

池—水面 北京の城内丈けで北海、中海、南海と三つの池があります、太平洋を海と呼ぶ我々の觀念にはピツタリとは來ませんが人工の池としては素晴らしい大きな

ものです。江守君の役所は此の海のすぐ側の園林の中にあるのですが窓に目をやりさえすれば水面が楽しめます、羨ましい限りです。



北京郊外の並木路

一日萬壽山に遊びました、西郊の離宮です。廟、王宮玉泉山の塔等飽くことを知らぬ風致ですが、何と云つても其の基調は山と水です、就中水面です、昆明湖は現在の水面でも約二平方軒もありませうか、人工によるとかの説を聞きましたが之は必ずしもうけ取れません。

空と水、何故かは知りませんが之程人の心を眞實にし善くし、美しくするものがありませうか。空はまあ何處にでもあります。水は必ずしもそう參りません、特に普通の市街では、私は大都市の中には思ひ切り大きな水面を興へ度いと思ひます。そうしようではありませんか、新京の南湖あればよい施設になります。

古物の保存費 北京古宮の建築も相當破損しかけてゐます。建築、庭園、樹木などこの廣大な宮殿の保存は一體如何なることが知らずと心配しながら廻つて廻つてみたら現に諸處で大がかりな補修工事にぶつかりました。建設總署の林局長さんなど大變な努力を拂はれてゐる様です。此年の豫算が確か三百萬圓とかに聞きました。

マツチ箱建築の時代にうれしい話です。併し其の財源は何處から出るのでせう、結局は皆んな民衆の出し合ひです。そうですそうです皆んな民衆の出し合ひで古宮は保存すべきです。良いものは保護せねばなりませんから。

滿洲の新都市には保護に價する良いものは少いのですから經費は助かります。助かつた經費で良いものを創るべしと申したのでは通らぬものでせうか、あゝ帝王が羨

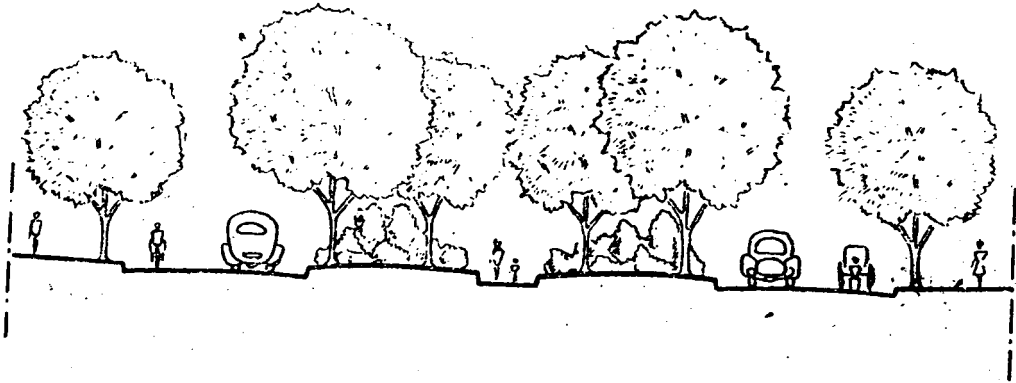
ましい、デモクラシーは辛いです。

公園式道路 北京舊城内天安門外に外國大使館の集團地帯があります。北京再建や何かに大いに關係があるらしいですがそんなことは如何でもよいです。私の申し度いのは其の地區を南北に割る素晴らしい道路です。距離は比較的短いのですが断面がよいのです、第十三圖を御覽下さい。

中央植樹帯は樹木とで生ひ繁つてゐて遊歩道を歩く人からは自動車の通過さへ氣がつかぬ程です。又中央遊歩道の處々には階段や門等が設けてあつて行くものを働かせない工夫が巧です、多分ベンチも置いてあつたでせう自動車は緑のトンネルの下のアスファルト舗道を音も無く走つてゐます。

此の種の道路はドライヴウエーとして、公園と公園と

第十三圖 北京公園式街路横断面圖



北京公園式街路ノ左車道



北京公園式街路ノ中央歩道

なつなく遊歩道として、住宅地域内の幹線街路として多分に取り入れなければなりません。或る場合には繁華街にも近接して裏通りに一本抜き度いものです。都會の人々に何れ丈けの清涼と鎮靜を興へるか計り知れぬものがあります。

馬路と胡同 北京では特務機關の佐藤先輩とそれから三浦技監とし私宅を訪問しました、兩方とも繁華街に極く近い便利なところにあります。繁華街の横丁を一寸入ればよいのです、そして其の横丁たるや自動車の辛うじて通れる路地として、技監は何でも其の路地の泥を片づけるのでしたか凹凸を直すのでしたか忘れましたが、江守局長に善處方を依頼してゐたのますが、それが滑稽に聞える位の小路です。大官連ドエライ路地の奥住ひだなと感ぜずには居りませんでした、いよゝお宅に落ち付いて見て驚いたのです。屋敷(支那家屋です)の立派で廣大なことにも驚いたのですが、それよりも静かなことに驚いたのです。中でも技監のお宅は元大官(錢念名士

ですのに名を忘れました)の第二夫人の邸宅の由にて、玄關なる建物から廊下で中庭を渡つて食堂のある中の院に達し、それから又の廊下で奥庭をつき切つていよゝ寢室のある奥の院に達すると云ふ風です。その廣大な屋敷に獨身で住んでゐられるのですから、中庭の枝垂れ柳の蔭から化物が出ねばよいかと思はれる程静かでした。化物は出て出なくてもかまひません。私の云はんとするのは外ではありません、大都北京でも屈指の繁華街から二丁とは離れぬ此の住宅地を斯くも美事に閑靜に造り上げた都市計畫の技巧であります。

こゝで私は胡同と云ふ字を思ひ出さずには居られませんが、胡同の眞の字義は今でも知りません、間違つてゐてもよろしい、私の思想を表現する道具に使はして下さい。

馬路は馬車の交通に供する道であります、新京で云へば大街又は大路であります。胡同は之に反して馬車の交通せぬ道、即ち住宅路であります。佐藤、三浦兩宅の閑靜さは屋敷の大きさにもよりますし又建築の構造にもよります。よりよませうが見逃してはならないのは此の胡同です。

私ははじめ三浦濱丁を路地とも呼びましたが此には輕蔑の意味が含まれてゐました、今は輕蔑を撤回して改めて尊敬を拂ふのであります。

新京は坂田技監の住はれる崇智路を想ひ起こして下さい、純住宅街ですが四車線道路に歩道の附いた立派な街路です、直通街路であります、これで私の云ふ胡同の効果は出て来ません。土地の利用から云つても不經濟です、四車線道路と云へば自動車が落驛として交通し得る街路ですが、誰か曾て崇智路に此の交通状態を見かけたものがありますか。崇智路の車道面積は如何しても之を築いて他の用途に譲り度いどころです、大同大街の路幅を増大してもよし、又沿道の宅地に呉れてやつてもよいです或は又余分の植樹用地にするのも一法でせう。

大動脈街路 **トラフィック・オンリーの街路** 昔は「馬路」ですみました、今は唯の馬路丈けではすみません。之は北京の事ではなく大東港の話ですが沿道の宅地の利用を態と無視した街路を一本大きく入れました。60米道

路の兩側に各々40米の植樹帯を取ると云ふ工合に。而して商館の如きは此の街路を避けてスルー・トラフィックに關係のない街路に追ひ込まうと云ふのです、之はよい考です、東京の昭和通(復興第一號幹線)や神保町通(復興第二號幹線)の失敗に懲りたからそうしたのです。

街路の分類 あれこれと考へさせられて私はこゝに殊更に街路の分類を試み、同時に計畫上望ましい若干の條件を附記し度いのです。

第一、高速街路 自動車専用街路です。時速百軒或はそれ以上をねらつて充分の見通し距離並に左右の餘裕を必要とします、交叉は相手が鐵道に限らず道路でも原則として高低交叉にするのです。カーブ勾配もとり注意を要します、出来得れば車道中央にグリーン・ベルトを入れ度いものです、左右の餘裕は沿道修景に利用させよう。大東港ではそれ等すべてを具備した一本を入れました。

第二、大動脈街路 スルー・フェアです、スルー・フェアの字義は昔の學校で教つた程度ではりけません。目的はトラフィック・オンリーです、車のパーキングを極度に忌避します、従つて商館や公衆の使用頻繁な建築や施設を沿道に配置しません、止む得ず等を沿道に配する場合には各個の敷地に駐車場や群集留りを設ける様強制を要します、又自動車専用車線を必要とします此の車線部分は出来る丈高低交叉に致します、止むを得ず平面交叉を生ずる場合には大きなロータリー・システムにします、小さい街路の横切り又は丁字交叉は極度に省略します自動車専用車線と緩速車線とは明確に區別をつけます之は成る可くグリーン・ベルトによります。

高速車線、緩速車線共に各々最少四車線を必要とします、バス停車場として餘分の路幅を取りませう。出来るなら充分の綠化が必要で路線のトンネルにしてやれば理想です、かりに全路線の綠化は不充分でも處々には樹林を造つてやりませう。

第三、官公署街路 概ね長大なる區域に延ばす必要はなく比較的局部に限られませう。駐車場は街路でなく各建築敷地内に納めませう、そうすれば車道幅は案外狭くてすみます。ゆつたりした氣分と裝飾を主とし度いので

すから植樹帯と歩道とは思ひ切り大きく取りませう。車道を広くしても歩道が狭くては品のある街路は出来ません。車道には全路幅の半分以上は占めさせ度くありません。

第四、商館街路 デパートメント、劇場、映畫館、郵局それから或る場合には銀行、會社、旅館、レストラン等の集合が豫想せられますすべて之等に駐車場を宅地内に要求するのは無理でせうから如何しても道路上に駐車場を取る事が必要です。駐車場は歩道より車道の兩側を利用するのが一番効率的です。幅2米乃至6米です。6米の場合は横列駐車、中間隔では斜め駐車がきゝます。劇場、映畫館や大規模の旅館、レストラン等に對しては歩道と駐車場とに特別の餘裕を保たしめ得る機運建築物に後退を強制させよう。駐車場では普通なら二米のところを六米にすると云ふ風に。商館街は長大な路線にせずにむしろ必要な丈けを面積で取りませう。路線式と云ふよりも集團式です。その方が第二類大動脈街路を設定する趣旨にも合ふでせうし、又苟めにも大動脈街路を横切つて長く續いたのでは甚だ面白くありません。

かく小じんまりと集團的に納め得たとするならば假りに此の街路が交通混雑を來たしましても其の都市交通の大局には影響はないのです。人間は閑靜を要望する一面に於てまた恐しく繁華と雑踏とを戀ひ慕ふものです。此の欲求は主に商館街と小賣店街とで満足させなければなりません。ですから廣過ぎる商館街路はいけません、著しい混雑に陥らぬ程度に狭く計畫した方がよいのです。植樹は無視したくありませんから歩道は相當廣く取りませう。

第五、小賣商店街路 小賣商の外に小料理店、カフェー、喫茶店等が集合するでせう。

場所は多分商館街の裏横通りの如きでせう。路幅はウツト狭くしてやつて下さい、道行く男と女のケツが觸れ合ふ位に、その方を市民も商店もよろこびますから。大局の交通からは勿論心配は要りません。歩道は別に要りません、いや車道の方が要らぬのですが要する歩車道の區分はない方がよいです。交叉點等態と喰ひ違ひにしてやるのも面白いですが、喰ひ違ひを忌むのは交通上の要求

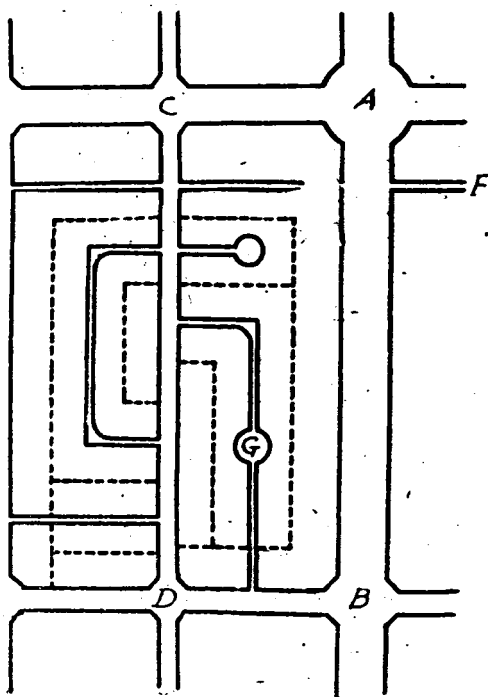
からです。

第六、住宅街路 閑靜こそ此の街路計畫の基調でなければなりません。交通の問題はむしろ二の次です、ですから路幅も概ね自動車の二車線です事足る場合が多いでせう、路線の短い場合等では一車線でも我慢出来ます。餘分の敷地は成る可く宅地に呉れてやります。街角では消防自動の轉廻に對する餘地が必要です。

何處迄も閑靜が主ですから路線形も四通八達の基盤形式は避けて見透しに適度の限界を附して落ち付いた感じを與へ度いものです、それがためには字型の交叉や、喰ひ違ひ交叉やそれから又L字形やT形の折點はある程度迄好んで用ひませう。緩い彎曲やSカーブ等が入れば又面白いです。火災其の他の非常時や道路補修時の用意に行き止り道路は原則として避けなければなりません、それとても路線が短かく依存宅地が多くない場合は車廻はしの設備さえ取らば支障ありません。

最も單純なブロックに就いて第十四圖に住宅街の試案

第十四圖



を描いてみませう。A—Bは動脈街路のつもりです、ですから横切り道の敷を成る可く夥く致します。A—Cは商館街路のつもりです、電柱を無くする爲めにE—Fなる背割小路を入れました。C—D又はB—Dは住宅幹線街のつもりです。その他の小路は皆住宅枝線街つまり胡同のつもりです、幅員は6米か8米で充分です、路線の設定はロット割り上必要限度に止めます。Gは路線が少し長過ぎますので小廣場を入れて見ました、一本の大樹が充分單調を破つて呉れませうし又車廻はしの餘地にもなります。點線はロットの背割線のつもりです。

以上は主として住宅街路の支線（支線が大部分を占めます）に就て述べたのですが、各支線を拾ひ集める幹線については交通量に應じた車道を取り其の他に裕富な歩道を取りませう。ドライブはビジネスですか歩くことは本能です。ビジネスは或程度制限す可きですが餘り本能を制限すると不愉快になります、緑化は分けて大切です集團的住宅地を貫く幹線街路として公園式街路が一本欲しいものです。

第七、倉庫又は工場街路、車道が生命です 倉庫街には屢々歩道を必要とせぬ場合も起りませう。工場街では職工の通行のためには歩道は大切にせねばなりません。倉庫工場街は稍々もすると、いや多くの場合餘りに無味乾燥に陥り易いのです。馬子や下級労働者のためにも相當の緑化は忘れ度くありません、假りに全路線に亘り充分の緑化の餘地のない場合でも要所要所には緑のオアシスを設けてやりませう。

第八、公園式街路 遊歩道路と稱するものも此の中の一種類でせうか風致風景の勝れた場所や公園と公園を又公園と運動場等を結びつける爲めに多く用ひる可き街路です。此の街路の設定によつて風致地や公園は系統化されますので個々獨立に存在する場合よりも大きな意義をもつこととなります。内容は緑化を第一義とせずばなりません、次は歩道です止むを得ず。ば車道は若干犠牲にしても歩道は裕福に取らねばなりません。環境に應じて隨處應變の計費を用ふべきは勿論ですが前記第十三圖の如きは何處にでも取り得る構造でありますから極めて平凡な苦ですがそれとて實に非凡の出来栄えだと思ひま

す。

序に申しまつてが路面式電車道を計畫する場合第十三圖の中央歩道を軌道に置き換えるならば先づ理想に近いでせう。

第九、背割小路 背割小路の創設によつて主要街路から電柱と電線とを除去した國都建設の功績は偉大です、之は日本帝都復興の大事業に於てすら出来なかつた、いや思ひ及ばなかつた事です。此の度の旅行でも見當らぬ事でした。商館街や觀光ルートとなる街路等では是非共新京の例に習はねばなりません。

第十、アプローチ アプローチを街路の分類に入れるのは或は適當ではないかも知れませんが見逃がす譯には参りません。

御影の磨石で造つた大建築でも敷地内の空地が雜草に埋つてゐるとか或は歩車道の見さかひもなく唯の砂利敷ではつたらかしておいたのでは意味をなしません、むしろ反つて醜惡でさへありますこんな例は十年昔の東京にもざらにありましたが近代滿洲のは餘程よいと思ひます奉天驛廣場は先づ悪い方の代表でせうか。

大きな公園や運動場を幹線街路に接して設けたがために果てしもなく垣根を張り圍らすなどはよくある例ですが感心出来ません。

それよりも幹線街路から程よく距れて設け大膽な線で相互の連絡を計る方が勝れてゐます。其の方が幹線街路も片面でなくてすみますし又公園の方から云つても奥ゆかしさが出て参ります。矢張りアプローチの技巧です。ホテルにしても新京ヤマトホテルは驛廣場、就中ドロ樹の樹林をアプローチとして巧に活かしてあると云へます重要な公共施設に適當な駐車場を設ける事が實用上必要なのは勿論ですが之で感じも概ねよくなります、駐車場は多くの場合アプローチの重要な要素です。

第十一、露店街路 商館街が如何に繁盛してもデパートメントの大進出を見ましても而も尙露店は姿を消しませんのみか益々繁榮に赴くかと思はれる程です。何故でせう、他にも理由がありませうがお客に氣輕く心易い氣分を感じしめるからなのです。私の郷里高知市では青物植木、草花、古物、雜貨等々の露店市場が毎週日を定め

て立ちますが面白いことには同じ市でも日によつて露店の種類が變ることです。水曜日には植木市、土曜日には古物市と云ふ風に。植木や季節のものなどふと露店で買つて歸る氣持は何とも云へなく楽しいものです。都市から露店をなくする事は出来ません。滿洲の市街の場末は露店が附きものです、悪いことには數百米にも亘つて幹線街路の交通を妨げます。それは餘りに醜惡です。私はかねがね廣場を設けて此等の露店を收容すること考へてゐたのですが矢張り露店は路線式にすることによつて魅力を増す様です。それにしても動脈街路の路線は是非はづさねばなりません、此等のために出来ることなら豫め露店街路を計畫してかゝる必要があると思ひます。植樹はもとより必要です夏の日蔭を拵てやるためにも赤醜いもののカムフラージュのためにもです。荷車置場の如きスペースも必要でせう。

以上私は思ひ出すまゝに十一種類の街路を羅列して見ました。分類としては強ち適正ではないかも知れませんが又外にも掲ぐ可き種目があるのかも知れません。併し私の今問題とするところは分類技術の巧拙ではありません、均しく街路と云つても色々あるのだと云ふことを皆さんに強く意識して貰へばよいのです。例へば幹線街路と云ふ言葉がよく用ゐられますが、如何に漠然たる言葉であるか解つて頂いたでせう。帝都復興事業では街路は幹線、補助線、區劃整理街路の三種目に分類せられましたが、之れだけの觀念しか持ち合せがないとしたら、良き街路は良き都市は造成出来る筈はありません。

北京には五日滞在しました、其の間に蘆溝橋や通州迄も見るのですから忙しい見學でした、本當に見るためには三ヶ月もかゝるのでせう、いはゞ蟬蛤の尻冷しです。併し北京がよいところであるとはつくづく感じました、その筈です北京の人達は帝王の施設を其のまゝ市民のものとして享樂してゐるのであります。北京の人を羨ましいと思ひます。

或る會食の際私は玉泉山の裾野の景色の連想からふと愚問を發しました、雉はゐるのでせうかと、誰も銃砲打ちには行かぬと見えて答は得られませんでした。銃砲打ちに行かぬのは治安の關係もあるのでせうが一つには殺

伐な趣味に赴かなくとも他に慰安が充ちあふれてゐるからでせう。よいものづくめに文弱はつきものです、江崎君の云ふ「北京のインテリ」もここから来るのでせう、かくして北夷が幾度も北京王城に取つて代りました。帝王を、北京を餘り美しがらぬ方がいかにも知れませんが。

北京から南京迄は飛行機で飛びました、曲阜の孔子廟を俯瞰し泰山をすれに超して、僅かに四時間の旅です。南船北馬も一と跨ぎです。

南京の街 上空の旅は涼しいです、幾分は飛行機に乗つたのでせうか、ついうとうととしてゐました、夢はまだ北京の王者の續きです。忽ち異變あり、焦熱地獄に墜き落されたかの様です、軽い衝撃に我に歸れば機は既に南京飛行場に着陸してゐます、あゝ何と南京の暑さよ、全身から汗が一邊に吹き出します。

南京飛行場は實によく整備してゐます、私の見た中一番氣持の良い設備です。

南京の街は未だ充分復興してゐるとは見えません、幾々に廢墟を見ます、爆撃の跡かと聞くに蔣軍退却時の砲火にたるものが多いとの答でした。首都飯店の裏庭は蓮池です、葉も花瓣も太く豊かです、釋尊の邦に近づけばからでせうか、旅は嬉しいです。

南京城壁と中山陵 南京の街からはお土産にする程のものは大して得られませんでした、古都としてはは度なる政變に荒れつくしたからでせう、中國の首都としては技巧も幼稚を脱しませんしそれに全く未成品です。

唯二つ丈申上げねばなりません、それは昔ながらの城壁と中山陵とです。城壁はえんえん 40 軒面積 40 平方軒を圍繞致します、構想の大なるは北京に限りません、前述の飛行場も此の城郭の中にあるのです、から未完成の首都としての又今事變復興途上の南京が余計に痛しく感ぜられるのでせう。

中山陵は其の構想にしる個々の施設にしる古帝王の偉業には比す可くありませんが、此のせち辛いデモクラシーの時代に當つて兎も角もあれ丈けのものをやりおほせた爲政者の氣魄が嬉しいのです、爲政に焦點が結ばれてゐます、左顧右盼ではあれ丈けのものは出来ません、祀られる中山の偉らさ、之は私の領分の外です。

揚子江 街の見物は意外に簡単にすませて揚子江を見ました。南京城外では大揚子江とは思はれぬ程狭いのです。一番狭いところは確か800米に足りませんが狭い丈に深いのです。百尺に近いと聞きます。此なら幾萬噸の巨船でも自由自在でせう。それなのに何と埠頭の寂しい事とせう、又何と工場の静いこととせう、工場としては英系の鶏卵粉末の大工場が巨體を聲やかしてゐる位のもので他は殆ど無に均しいのです。三百軒下流には世界の市場大上海が其の繁榮を誇つてゐます。上海の強みは何と云つても揚子江の水運により支那幾百州を其の勢力範圍に収めてゐるからでなければなりません。南京が世界の巨船を集めるに足る水利を有してゐるならば世界市場は何故南京に移らぬとせう、何故もつと工場が起らぬとせう、何故上海の繁榮を奪はぬとせう。一寸不思議です。

南京の一夜を我が呂大使の招宴に過ごすことが出来ました。呂さんには久々振りで、お目にかゝりましたが、相變らずお元氣です。只テロの終息せぬ今日散歩もつかつには出来ないところぼされてゐましたが、お氣の毒に感じました。田原さんとも關屋さんとも同席で歡談することが出来ました。關屋さんとは大分都市計畫の話をしました。此は私が都市計畫屋であるから丈けではありません。關屋さんは今の榮耀に居られ乍ら實は都市計畫が忘られないが爲めです。關屋さん自らさう云つて居られました。都市計畫屋は先づ喜まれてゐると申さなければなりません。

南京を立つ際はからず皇軍兵士の遺骨と一緒に戦頭で部隊の送別式が行はれました。昨日まで一緒に戦つた戦友達の送別だつたのでありませう。奏樂は名は知りませんが旅の者の胸をえぐる様な曲でして、銃を捧げた兵士の顔は今崩れるかと思えました。心は煮えくり返つてゐたのでせう。車室の人支那人も日本人も顔を正して直立しました。あふれ出る涙の止め様もなくハンカチを取り出した途端に私は肩を叩かれました昨夜會食の渡邊隊長です。隊長の顔は落ち付いてゐました元氣で廻つて来いよと云ふ私への厚意さえ見えます。多分隊長に取つては幾度繰り返した送別でせう、いやこれからも幾度繰

り返さねばならぬ送別でせう。私の涙を隊長に女々しくも安ほく見られまいと氣付きましたがそれは間に合ひませんでした。

上海の街 上海に着きました。將來全世界の經濟と繁榮とを牛耳る都市は紐育と上海だと云ふのが私の持論です。その上海に初めて来たのですからよく見ておかねばなりません。

上海の印象 先づ暑いことと酷暑とは之のこととせう、併し之は云ふても何ともならない。女の身體検査員成程。劍付き鐵砲。自轉車、洋車、自動車、ゴー、ストツプ、バス、電車、トロリーバス、二階付きのバス印度人の交通巡査、棍棒、之は愛嬌がある。

スカイ・スクレーパー、十階、十二階、二十階、二十五階、上見ると目が廻る。オツト危ない洋車の棍棒。寶石屋、銀器屋、古董屋、そんなものには用はないデパート、靴、カバン、綿綿のタオル、買ひ度い。萬年筆一本三千弗、こ奴はいけな。紅い火、青い火、ネオンの光。ゴー・ストツプ、人の波。香水のにはほひ、汗、體臭。獅子牙粉、可口可樂、仁丹。毛唐の女、姑娘、野鷄、ヤリ手婆、牛太郎。イツバウケルカ、サンニンイツショニユクカ、オトコオンナミルカ、オンナオンナミルカ。競馬ハイアライ、ドグレース。ナイト・クラブ、ダンサー、ジャズバンド。劍付き鐵砲、バリゲード。強盜、スリ、行き倒れ。北京料理、佛蘭西料理、廣東料理、こいつは美味い。ピストル、乞食、テロダイナマイト。暑い、目が廻る。シャツボ、裸體の苦力、埠頭、英國旗、米國旗、思ひ出せない何處かの國旗、軍艦旗、日の丸、汽笛、サンパン、ファイアー・ボート、三萬噸の伊太利商船。運河、ジャンク、鶯の舟、棺桶の舟、ガーデン・ブリヂ、マンションビル、印度人の門番、チップ、エレベーター汗、扇風器。

之の調子では幾日攻めても上海は陥落しそふにありません。そこで方策を案じて試みましたが之は成功でした。一つはスカイ・スクレーパーを下から見上げることを止めて反對に其の頂上に立つて下界を眺めることです。もう一つは魔の都市の中にさ迷ふ事を見合せて場末つまり市の外周を廻つて魔物を逃げ場のない様に一定の限界に追

ひ込むでかゝることです。

兎に角上海は魔の都市です、良きもの悪きもの、立派なもの醜きもの強きもの、強きの弱きもの、嬉しいもの怖いもの、富めるもの貧しきもの、日なたのもの暗のもの、凡そありとあらゆる世界中のもののある街です。市政顧問の鈴木先輩の御紹介で市政府長官の陳さんに合ひました、幾日上海を見るかと聞かれますので三日豫定を三日延ばして良いもの悪いもの皆見度いと答へましたら、悪いもの迄見るためには三月はかゝると笑はれました、陳さんは又云ひました、上海と云ふ處は善いことをしたら貧乏になり悪いことをしたら金持になると。陳さんは廉潔政治の頭目だと鈴木先輩があとで解説をして呉れました。鈴木先輩は云はれました、上海は若いものゝ來るところではないと、いや老頭兒でもうかつに來る處ではありません。

高層建築と交通問題 上海心臟部の交通は全く行き詰りであります。私は大東京の交通に行き詰りを豫想して之が豫防と打開とは一生を懸けてもよいと張り切つた事がありました。上海のそれは東京どころの話ではありません、豫防どころか打開の手立てもないと云つてもよい位です、その原因は高層建築にあるのです。交通動脈を硬化させるのもこれ、治療の方法を絶無にするのも一つにこれです。而も都市の發展につれて高層建築(いやでも益々増加致します。

日本では百尺以上の建築は絶対に禁ぜられてゐます、滿洲では建築敷地に對する建築の容積に限度が附けられてゐます、併し交見の行詰り豫防に關しては尙々不安です更に研究を必要とします。

斯く云ふと如何にも私が高層建築を排拆せんとするかに聞えるかも知れませんが決して左様ではありません、反對に私は高層建築の讚美者です、高層建築こそは近代技術の誇です、近代都市の粹でなければなりません。支那王城の城壁と宮殿とも匹敵すべきものであります。私は高層建築に殆ど無限の美を感じるのです。だから私は研究を要すると主張するのであります。此の點に於て滿洲の建築制限法は日本のそれより幾分優つてゐます。日本のは出たら目である許りでなく誤つてゐます、當然

改訂せられねばなりません。

當初設の重要性 南京の街と港が何故上海の繁榮をはないのかと云ふ前述の不審は當つてゐると思ふ、海の方が自由八達海洋に近いと云ふ利點と租界なる爲制度の存在を他にしてはです。しかしそれは机上の論でした、單なる地理學上の理論でした。上海の街をのあたり見ては理論はけし飛びます、この街の既成勢は現實です、少々の理論では微動だにするものではありません。

當初英軍が斯處に進出の地點を選んだと云ふ事だけ今日の運命は決定したのでした、英國人の海外經綸は大です、上海の計畫に於ても當時としては極めて雄大あつたに違ひありません、其の雄大を以てして尙今日行き詰りを來たしました、流石に今日の繁榮は豫想のであつたと見えます。齊々哈爾濱の街、あれは地の利をさざる事の高だしいものです、嫩江の水害、下水排除の難から丈けでも都を造る可き地點では決してありません、而も今日の大都市と成りおほせたる所以のものは康熙昔さる將軍がきまやかな兵營を設けた丈けの事です。は勢に引きずられたのです、成る程滿洲の大城内丈け小高い丘の上で水害はうけません。

すべてはスタートで決まります、つくづくと當初計の大切さが考へられます、お互に自重を要します。

組織の力 上海は支那のものではありません外資がを運轉してゐるのです。上海の人口は400萬乃至600萬と云はれます、乃至が少し許り大きいのですがそこが陸式であり上海式で面白いところです、その内毛唐一語謂歐米文明國民の總數は僅かに六千人です、事變前で一萬を出ることいくらでもなかつたと申します。上海を造つたものは毛唐です、600萬の大都市を運轉してゐるものは僅か一萬人の毛唐です、私は意外でした毛唐の力はもつと多いと思つてゐましたのに。それよりも更に意外な事があります、それは日本人の數の多いことです、現在約八萬、事變前でも四萬は居たと申します支那人の數は問はず、毛唐と日本人の數と比較して見て下さい。毛唐は大上海を創りました而して之を運轉して來ました日本人は如何でせう、寂しい氣が致します。

毛唐と日本人とは一體何處が異ふからそうなるでせうか 私にはよく解りませんが組織、就中經濟組織の問題ではないでせうか、考へて頂き度きと存じます。

上海新都市計畫 恒産會社 蔣介石は租界の繁榮を奪ふために(從來さう聞かされてみました)租界の北界の北に大都市計畫を樹立いたしました、租界に接してと云はんよりは租界を飛び離れてあります。堂々たる市政府、其の附屬機關の建築、豪勢な運動體育館等美事なものであります。當に南京中山陵のそれを凌ぐ大經綸であります。不幸今回の事變の爲めに雄圖は半ばにして碎かれました。けれどもそれは新政府によつて繼承せられてゐます、いや單に繼承せられたに止まりません、日本内務省の知識を擧げての援助によつて遺憾なく擴大補正せられたのが今日の大上海都市計畫であります。而して上恒産會社は之が實行者でありキーパーであります、非常な張り切り方でありましたが最近の困難な時局は如何とも出来ません、縮少、見合せは御多聞に漏れませんが、荒木、金子の兩先輩も引き上げられました、梅津氏も他に擧げられました。

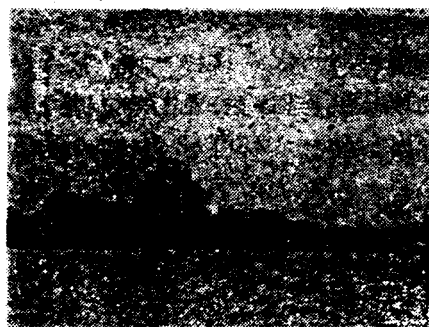
巷間此を見て評するものがあります曰く、租界の繁榮を奪ふとて大都市計畫を樹て恒産會社は出かしては見たが、そもそもその當初から無理ではあるまいか、此の調子ではとても期待はかけられそうにもない、計畫にしろ組織にしろ立て直しの必要があるのではないかと。

上海租界の繁榮を奪ふ、之は到底不可能の事です、租界の街は氣に入らうと入るまいと嚴然たる實在です、よき政治的支配なり機構なりに如何なる變動が起るふとも其の施設と經濟力は微動だにするものではありませんまい、それを敢て試みんとするならば其は確に無運と云ふものであります。私は蔣介石と雖も租界の繁榮を奪ひ取る考へであつたとはいへませんが、恒産會社にしても全く同じであります。然らば租界を他所にして事更めての都市計畫をやる必要が何處にあるのかと云ふ疑問が起るものであります。重要なのは實に此の點です此の點に巷間の議論不足があります、いや巷間にのみ限りません、稍々もけると魯政者に於ても錯誤に陥ることなとは申せませぬ。さてそれは。

上海租界今日の繁榮は一日にして出来たもるではありません、英國の進出力を以てして百年を要してゐるのであります。而して更に百年の後上海は如何なりませうか上海と紐育、之が世界の經濟を支配するので、疑はありません。上海都市計畫、上海恒産會社これこそ百年後の世界制覇の礎でなければなりません。金子先輩は去りました、荒木先輩も去りました、寂しいです。併し恒産會社の使命には何の變化もある可き筈はありません。後陣の方々よ陳社長さんよ、自重を祈ります、巷間の方々よ目前の事のみ心惑ふのを止めて下さい。

上海の公園 巨大な都市の割合に公園が少いのが痛感せられず。ですから何の公園も押すな押すな盛況です。

△パブリック・ガーデン ガーゾン・ブリヂにある一萬坪程の公園です。入場料を三十錢取つてゐますが、三千人程も入つてゐましたらうか、二千人としても五年に一人の割合です。

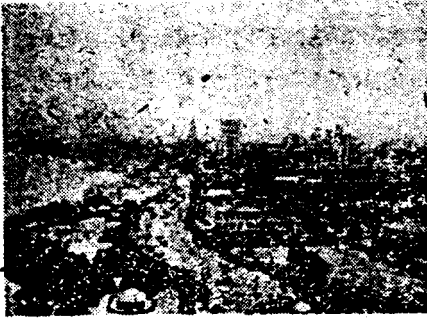


港から見たパブリックガーデン

此の公園の特質は江畔に存することです、遊ぶ客も涼風と水の眺めを楽しめるのですが、それよりも寧ろ私は港の公園としての計畫と價値とに重點を置いて味い、度いと思ふ、と云ふのは船から眺めた上海の玄關に絶大の風趣を添えてゐるからであります、私が見てもそう見えるのですから長い航海を終へて港に入つた船員達には此の縁が如何許り懐しく見える事とせう、數地がフラットに過ぎて港から芝生が見えませんが、芝生を見せ得たら尚良いでせう。

△バンド 上海と云へばバンドと云ふ位に聞き慣れた言葉です、然るに一向それらしいものが見當らぬので不思議

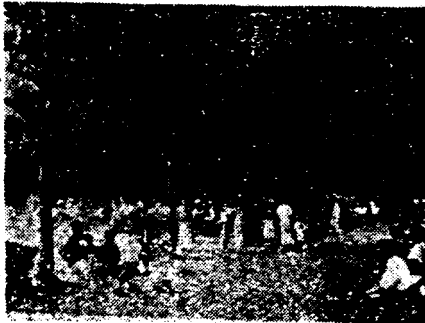
園に思つてみましたら、今は芝生を取り拂つて只の船着き用地にしたのだと聞かされました。矢張りバンドには遠ひありません。



バプリックガーデンとバンド

△佛蘭西公園 佛租界一番の公園です、矢張り三十銭の入場料を取つてみますが押すな押すなです。プラタナスの森林があります幹の廻りは二抱えもありませうか、偉闊です。日本でも滿洲でも街路樹として嫌になる程見せられたのですが私は一向に此の樹の美しさが了解出来ませんでした。佛蘭西公園の大樹を見て始めて蒙が開けました、以後プラタナスに尊敬を拂ひます。併し太く大きく育てなければ凡そ意味の無い樹だと今でも思ひます。

此の公園は花壇とがねらひです、動物園も経営してゐます。



フランス公園

又犬と支那人と入る可らずと云ふ制札がかつて立てられたのは此の公園の由、今はありません。

△ジョスフィールド公園 上海一の公園だと云はれてゐます、池もあり、堀つた土でアンヂュレーションも造つてありますが、無くもがなの程度です、生命は大森林をねらつた點にあるのです。矢張り三十銭です。



ジョスフィールド公園

ましたら案内の方から、聞かされました、昔は美事な芝生でしたが日本の勢力が強くなつてから如何やら大分荒れた様ですと。がつかり致しました。入場料丈けはタマシした併し立派な公園です、廣い芝生と運動競技場が主となつてゐます。極東オリムピックの会場だそうです。



新公園アプローチ

序ですから申します。同文書院を見に行きました、同文書院と立派に門札がかゝつてゐるのに敷地は荒れです、百姓らしい支那人が居る丈けです、狐の業かとよくよく尋ねて見ましたら遠くへ指をさしてあつちへ廻れと申します、車を返して見たら成程ありました。門衛に聞きましたら元のは先の上海事變で廢墟に歸した、一時長崎へ轉地してゐたが今はこゝに越して來た、これはもとの南洋大學です、どうぞ入つてよく見て下さいとの事でした。南洋大學なら支那のを取つたんだら、見る氣が失せたので玄關から歸りました。

日本人は上海を取ると申します、上海に限らずよく取

△新公園 日本人の多く住む方面にあつて上海神社とは隣り合ひだし珍しく旧名と讀みましたので日本人の手になるのに遠ひない。園で見ると面積はジョスフィールド公園に劣りません、日本に似たわい、之見が許り勢込むで参

ると申します。取つて貰ふのは大いに有難いです、併し取る許りでは功速にはなりません、創らわは駄目です。是非これが大切です。取る許りでは怨まれず、ロクな事はありません。

墓地 佛羅西田界の墓地を見ました、外人墓地です佛羅西人のでせうか。



フランス墓地

まるで立派な公園です。墓地を公園化するのはいわゆる理窟です、毛唐のは現實です、それだけ我々は倅れてゐると申さねばなりません、祖先を大切にすることに於て日本人が劣るとは考へ度くないのに拘らずです。

競馬場 例の五十萬弗相當の競馬場ですがそれが驚いた事には上海の眞中、第一の繁華街たる南京路に接してゐる事です。よくも競馬場が街の眞中に取つてあることでしたと漏らしましたら案内の方が元は場末の心算だつたでせうと答つたせうと答へて呉れました。それでも今日迄よく土一升金一升の此の街中に我ん張れたものだと不意でしたが之は口に出しませんでした。

然るに日をかへて私はパーク・ホテルの十四階で夕飯の馳走になりました何と競馬場が目下に墮つて見えるではありませんか、それが全面絨毯の様な芝生です、佛羅西の婦人や小供がそちらに一團こちらに一團とまるで静です。競馬場とはこんなに美しくないものと獨り決めをしてゐたのが誤でした。説明をききますと成程です、中央の餘地はローン・テニス、競泳場、ゴルフ練習場、フット・ボール・グラウンド等々に剩す餘地もなく利用し盡されてゐるのです。して見ると競馬場として専用する面積は十分の一位にも當らぬ位でせう、あとは皆街の中にこぞ欲しくて堪らぬ施設許りです。今後私は競馬場に街

の眞中に取る可きものと考を更めます。

パーク・ホテルも良いものに宿眠して建てたものですまことにスカイ・スクレーパーを見てるにふさはしい敷地です。夕飯のメニューの端にスカイ・テレスのライブを忘れるなど印刷してありましたが私はテレスから見た競馬場を忘れる事が出来ません。

黄浦江 上海の港 黄浦江は上海の港です、長さ40軒幅330米(廣いところで880米)帯の様な港です、大東港によく似てゐます、水は濁つてゐます之も似てゐます。接岸設備は各種の岸壁もありますがポンツーンが一番多く利用されてゐる様です、干満があるからでせう、干満は三米位です之は大東港の方が大きいです。二萬八千噸の伊太利商船が碇を入れてゐました、航路は淺いところは七米ですから潮まちの必要がある譯です、之も大東港に似てゐます。伊太利商船は戦争の爲め航海を休んでホテルを營業してゐるとの事でした。港は興亞院のランチで見せて貰ひましたが長いので相當時間を要します。ランチの走るにつれて次から次へと繪巻物の様に景色が展開して参ります。いくら行つても船、船、船です兩岸には倉庫が、工場が次へ次へと続きます。横濱や神戸の港の壯麗とは又一種趣の變つた偉觀であります。上海港の出入船舶は年二千萬噸に達すると云はれます。



上海の支關

上海の支關を飾る最大のものはバンドにそびえる高層建築群でせう。バンドは航路のつき當りにあります。素破らしくも偉大なる見透しの修景であります、先に述べましたバブリック・ガーデンの縁は其の縁です。大東港の海上支關にも埠頭公園街を計畫してゐますそこには如何してもスカイ・スクレーパーが欲しいのですが其の用

途と建築様式とが今から氣になつて仕方がありません。

上海の買物 上海は流石世界の市場です、時局下に拘らず何でも賣つてゐます、私は皮靴と万年筆、同行の坂藤君はライターと弗入れが持望の買物でした。万年筆は一本三千弗のありました之は止めて二十七弗、ライターは獨逸製の三十九弗で比較的簡単にやつつけましたが、解決のつかぬのは弗入れと皮靴です、前後六日に亘り探し廻りましたが形が氣に喰はなかつたり豫算が許さなかつたりでうまく行きません、しまひには皮靴屋を見ると腹が立つて来る程でしたが上海滞在の最終日にやつとやつつけましたのが何とファイバーの皮靴です、多分日本製かと思はれます。弗入れはそれでもわづつだけあつて立派な奴を探し出しました。皮靴と弗入れの勝負は私の負けでした。歸途大連でひよいと文房具屋のをぞきましたら上海のより氣に入つた万年筆が二圓だと云ふのです、女店員の説明によるとタイサンペンださうです、二十七弗のは家内への土産にして私は二圓ので此の原稿も仕上げてゐます。同じ店で火繩式のライターを一圓で買ひました、風が吹けば吹く程よくつくのだと坂藤君に見せびらかしたら坂藤君はウラメンそうな顔をしてゐました。此の勝負は私の勝です。それは兎に角にして上海は魔の街です。

青島の街 船から見た青島、何と美しい街でせう。緑の丘をバツクにした赤い屋根の街、一ときわ聲え立つ教會の尖塔、海の色も空の色も澄み切つてゐます。此れは街全體が見透しの修景そのものしす。街も港もさ迄大きな規模ではありません。何れかと云ふと小じんまりとすつきりした感じですが。人口は七十萬、日本人三萬六千、外人千八百と聞きました。

中から見た街も亦素破らしく感じの良いものでした。スカイスクレーパーはありません高くて五、六階止りでせうか。それでゐて建築高さの變化から来る美しさがひしひしと感ぜられるのは地形の利用が巧に出来てゐるからでせう。街路街路の見透しも素破らしいものです。山手に向えば、教會の尖塔や山腹の住宅群が、又下町に向へば海の水平線が美事な修景の役を果して呉れると云ふ、風です。私の恐れた獨逸式の規制は欲しくも見當りませ

ん、獨逸人は別荘のつもりで此の街を造つたのかも知れませんが。惜しいのは四時間の上陸時間しか與へられなかつたことです。

後で大連の街を更めて見てから感じた事ですが青島が美しくも好ましく見える大きな理由がも一つあります。それは道路の幅が廣きに失せず、狭きに過ぎず、交通量と建築とに如何にも間隙のない調和を保つてゐる點であります。

私は始めて大連を見た時に音に聞く大連の街の余りにも間の抜けた感じに呆きた記憶があるのであります。之は強ち東京に慣れた目で見たいせひ許りではありません。大連の道路幅は交通量なり沿道の建築なりに對比して廣きに過ぎるからであります。そこに重大なる間隙が生ずるのであります。獨り大連と云はず又滿洲と云はず近來日本人の都市計畫の一般的傾向として此の體はないでせうか。當然ありそうな事です、何故とならば日本内地の都市で我等は余りにも狭い道路に悩まされ過ぎたからであります。此のことは單なる感じ——美觀丈けの問題ではありません、都市經濟の根本問題でもあるのです、いや交通、經濟、衛生、保安等各種の要素が調和のない調和を保つてこそ初めて眞の美が生れて來るのであります。時局柄防空綠地の問題が又建物疎開の問題がやかましいのですが、私は非常時の必要も去ることながらむしろ之が平時の市民の幸福に大切なことなるが故に多大の期待をかけるのであります。防空の用意に井戸を掘れと申します、それも結構ですがその前に水道施設の強化又は修復対策を完備することが必要です。

さても一度街路の問題に歸りませう、私は大連(大連に限りません其の他一般都市の街路計畫について申し度いのです)の街路が間が抜けて見ると申しましたが之は單に廣過ぎるからだけではありません、廣すぎるだけならしる將來の膨脹に對する賢明なる用意として讚美すべきかも知れませんが、何の街路を見てもとりとめのないことです、街路に個性がありません、個々の街路の計畫に焦點が凝られてゐないのです。私の言葉はしごくまづくて不完全の様ですそれを補足する爲めに北京の街の條に記した「街路の分類」を想ひ起して下さい。私の云ふ

床が少しは明瞭になるのでせう。

街路の構成は路敷と道路工作物とから丈けで成り立つものではありません其の道路の目的、性質、それから沿道の建築が最も大なる要素であることは既に述べた通りであります、それは既に御諒解下さつた事と思ひます。

そこでこゝにも一度つけ足して述べたいのは建築物の高さに關する法制です。日本の建築物によると、建物の許容高は街路の幅員によつて一律に規制せられてゐますこれが甚しく氣に喰はぬであります、此れでは街路の個性は殺されてしまひます。閑靜を尊ぶ住宅街も繁華を誇るべき商館街も同じでは話になりません。スカイ・テレスも、教會の尖塔も姿を消して仕舞はねばなりません。日本のことはさておき滿洲の法制にも本法にはありません。

人が同様の杓子定規が現れかけてゐます。日本の眞似は是非止めて欲しいのであります。

青島の街、一寸惚れの余り讚め過ぎたのかも知れませんが、少しは缺點を擧げませう、港の狹隘、規模の小さなことです、青島の港から大連に入港しますと港の規模の壯大心強さを覺えます。獨逸人は本當に別荘の心算で青島を創つたかも知れませんが、新埠頭會社では今港の擴充工事に大奮です。

此の度の旅行に寄せて頂いた先輩知友のこの上ない御高意を感謝いたします、分けても三井物産の行く先き先きの御厚意を感謝いたします。偉なる組織の大三井よ。うんと我人張つて下さい、かまわんからうんと儲けて下さいそしてスカイ・スクレーパーも造つて下さい、良いものがどしどし創れる様に仕向けて下さい。